

令和5年度(2023年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和5年(2023年)1月]

評価調書作成者 [道路整備課長 森 裕]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	一般国道324号 本渡道路Ⅱ期 道路改築事業
事業箇所	天草市志柿町地内
事業担当課(室)	土木部 道路都市局 道路整備課(幹線道路班 内線 53364)
事業期間	令和5年度～令和14年度 (10年間)
総事業費	24,800百万円 (うち県費 8,325百万円)
事業内容	延長2.8km、橋梁3橋、トンネル3箇所
事業目的	<p>本道路が一部を形成する地域高規格道路「熊本天草幹線道路」は、熊本市と天草市を90分で結ぶ「90分構想」の実現に寄与するとともに、地域間の交流・連携を強化し、天草地域の観光や水産業等の振興、地域活性化に大きな役割を果たす道路である。</p> <p>国道324号は、平日朝夕・休日の慢性的な渋滞の発生や、周遊観光の移動に長時間を要しているなどの課題を抱えている。</p> <p>本道路の整備は、交通混雑の緩和や所用時間の短縮、アクセス性の向上による、人流・物流・観光・地域産業の活性化を目的としている。</p>

【現況写真】



(天草市志柿町の渋滞状況)

国道324号においては、天草瀬戸大橋前後の交差点を先頭に、平日朝夕の通勤時間帯や、休日の観光交通による渋滞が慢性的に発生している。夏期シーズン(休日)の熊本方面から天草方面への渋滞長は約4.9kmに及んでおり、日常生活や地域産業などに影響している。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	B/C = 1.6
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状のままでは、当該区間においては天草上島と下島を結ぶ唯一の道路であることに起因する、交通容量の不足と観光客等の交通が集中することによる著しい交通渋滞が発生し、地域振興、事故・災害時の代替路の確保を図るうえで支障をきたしている。 ・ルート選定については、1次選定、2次選定(概略設計)、3次選定(予備設計)と段階的に行い、それぞれの段階において経済性や整備効果を検証した。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	「熊本県の道路に関するユニバーサルデザイン指針」に基づき、地域の意見を反映させ、全ての人が利用しやすい道路とする。
関係法令等の手続きの把握・完了状況	土壌汚染対策法第4条第1項に基づく届出が必要

【 周辺状況 】

関連事業	熊本天草幹線道路 本渡道路 I 期
市町村、地元の状況	関係市町村及び地元期成会・協議会などから早期整備の要望を受けている。
説明会の開催状況と関係者の意向	平成21年度に、熊本天草幹線道路(本渡道路[仮称])検討委員会(H21. 11~H22. 3、4回開催)を開催し、PI方式(市民参画型道路計画)により道路計画の検討を行っている。PI活動を通して、道路計画に対する地元の合意形成を図ってきたところである。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。 〔事業により影響を受ける場合、専門家の意見を参考に必要に応じて移植等を行う。〕	有 〔配慮する〕
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮


	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。 〔切土や盛土ののり面は、早期緑化を図る〕	有 〔配慮する〕

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。 〔工事による濁水等に配慮する対策を講じる。〕	有 〔配慮する〕
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。 〔大気汚染、騒音、振動、悪臭について、必要に応じ低減対策を行う。〕	有 〔配慮する〕
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無


 : 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	5
	② 市町村合併支援	5	5
	③ 道路ネットワーク上の位置づけ	20	20
	小計	30	30
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	⑤ 産業活動関連道路	15	15
	⑥ 渋滞対策	5	5
	⑦ 救急医療機関等へのアクセス	5	5
小計	30	29	
緊急性	⑧ 安全性の向上	15	10
	⑨ 連携する他事業	5	0
	小計	20	10
効率性	⑪ 費用便益比(B/C)	20	16
	小計	20	16
合計		100	85